

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**三山木保育所移転新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)201  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCB\_2010(v.1.8)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設置騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 輻射冷却・加熱制御								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 断熱・蓄熱制御								
6 窓の性能								
7 断熱・蓄熱に付いた配管								
8 蓄熱の活用								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 遮光器具の設置								
2 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 断熱対策								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 維持管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

2.8

2.4 信頼性			3.0	0.19			
1 空調・換気設備			3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20			
3 電気設備			3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20			
5 通信・情報設備			3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.1	0.29			3.1
3.1 空間のゆとり			3.6	0.31			
1 階高のゆとり	階高 3.55		4.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1 空調配管の更新性			3.0	0.17			
2 給排水管の更新性			3.0	0.17			
3 電気配線の更新性			3.0	0.11			
4 通信配線の更新性			3.0	0.11			
5 設備機器の更新性			3.0	0.22			
6 バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮	建物の色彩、外装、また植栽を配する等、景観に配慮		4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	府内産木材の使用		4.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR1 エネルギー			-	0.40			3.9
1 建物の熱負荷抑制	省エネポイント値 165 /		4.0	0.30			4.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20			4.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	トップライトの設置 /		4.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備の設置 /		5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化	ERR=22% /		4.3	0.30			4.3
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=22%	4.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無	雨水貯留タンクの設置		4.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63			3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン		3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	フリーフロアの採用		4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)	現場発泡硬質ウレタンフォーム(ODP=0、GWP=1)		5.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2 83%		3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25			
1 雨水排水負荷低減			-	-			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33			
3 交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪台数の確保、出入口の分散化		5.0	0.33			
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動			-	-			
3 悪臭			-	-			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制			-	-			
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たし、広告照明なし		5.0	0.70			
2 発光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			